日刊留萌

2012年（平成24年）3月30日（金曜日）

利用のあり方検討

増毛山道 トレッキングは継続

留萌振興局環境生活課は、NPO法人増毛山道の会（伊達東会長）と協働で今後の利用のあり方を探っている。二十四年度の支援事業として引き続き体験トレッキングの実施を考えているほか、コースを紹介するガイドマップの作製などを検討する。

増毛山道は、増毛町別苅～石狩市浜益区幌（二十七キロ）を結ぶ百五十年ほど前の江戸時代に開削された道路。交通網の整備などで未使用となり、ささやぶになっていた山道をもう一度復元したいと、増毛山道の会が発足。振興局は、自然環境教育、観光振興など将来的に地域資源となる可能性を秘めていることから、同山道の会との協働で事業に取り組んでいる。

平成二十一、二十二年度の二カ年で山道の一部となる増毛町別苅～同町岩尾間の増毛山道抜け道ルートの復元を試験的に行った。二十三年度は開削したあとの利用方法の検討を進めているほか、復元したルートで、昨年七月から十一月にかけて計四回、増毛山道の体験トレッキングを実施。今後の利用について検討するための参考資料として、参加者にアンケート調査を行った。

23年10月に実施した増毛山道体験トレッキング

増毛山道は、復元はされたが一般開放はしていない。ルートを歩くには、同山道の会のガイド付きでなければ歩けないため、二十四年度も引き続き安全対策やルート維持管理などをどのようにしたらよいか検討を重ねていく。具体的な取り組みとしては体験トレッキングの継続、コースや見どころポイントを歩きながら見れるガイドマップの作製などを考えているが、同環境生活課は「外部の意見を聴くために、専門知識のある学識経験者などを含む検討協議会的なものができれば」と話している。

（石山真一）